



大月町
議会だよ!!

令和7年8月1日発行
高知県大月町議会

第121号
3月臨時会・6月定例会

農家のおばちゃんが、議員になった。



松田 照代 63歳
（大月町議会議員）

—自己紹介をお願いします。

ハウスで米ナスを栽培する農家のおばちゃんです。毎朝収穫し、選果場へ出荷。その後はまた、ハウスの中で木の剪定・誘引。仕事が終わると、家事に両親・祖母の介護にと、一日、一日を過ごしていました。

両親・祖母の介護を終え、自分の時間ができたとき、めぐりめぐって議員の道へ。

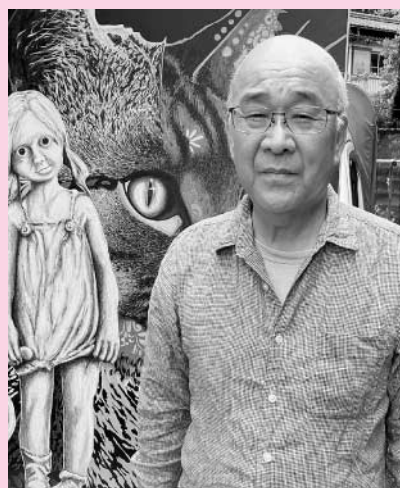
—「議員」に対するイメージはどうでしたか。

政治や議会については、テレビや新聞で見聞きする程度の知識しかありません。なので、選挙の時にはよく見かけるけれど、それ以外では特に。議員の仕事は議会に出ること、その他はよく分からない。そして、偉い人というか、俗に言う「議員先生」といったイメージです。

表紙によせて

製作者 わたなべ ひでゆき
渡邊 英幸氏

画題 夢先案内人



製作者のことば

この絵は、山口百恵の「夢先案内人」という音楽を聴きながら、イメージをふくらませて描いた。

最初、自分が思っていたイメージを描きよったら、ここはこうしたらいいがやない、あそこはああしたらいいがやない、と思いつきで入れていくだけ。



—自分とは違う世界の人、といったところで
すね。では実際に議員になつてどうでしたか。

議会・議員とは何ぞや?といった感じで、
知らない単語がどんどん出てくる。一般質問
も、質問内容を考えたら終わりじゃない。答
弁まで想定して、その先の返しまで考えてあ
る。率直に「すごい」という感想です。

もうひとつ、困ったというか、ハウスの勝
負服はエプロン・長靴。議会の勝負服はスー
ツにパンプス。そんなのもう何年も着てない、
持っていないぞと。会議も様々あるので、時
所・場合に合わせたスーツ・ワンピースを徐々
に揃えました。

—未知の世界、知らないことだらけ。そんな
議員の世界に入つて1年が経過しようとして
いますが、どんな活動をされていますか。

毎週のように会があり、委員会に研修・臨
時議会に本会議、目まぐるしいくらい忙しい
です。どの仕事もそうですが、やってみない
と大変さが分かりませんでした。議会の活動
をもっと住民の皆さんに伝え、それに対して
意見を貰える。そういう活動ができれば、と
思っています。

—最後に、これからの抱負をお願いします。

「えらくなるな、でもえらくなれ」元町議
会議員の方から言われた言葉です。天狗には
なるな、でも住民のためには強い心ざしを持
ち続けよ。

この言葉を胸に、農家のおばちゃんは今日
も、ハウスに議会に楽しみながら一歩一歩が
んばつていこうと思います。

●インタビュー：山本さやか(議会議務局 書記)

面倒見がよく、勤勉で、誠実。人として、議員として大切なもの。仕事で議員と
関わるうちに、議員と近所のおばちゃん、そんなに違うものだろうか、と考えるよ
うになりました。

ご近所さんから「照ねえちゃん」と呼ばれていた姿は、慕われている近所のおば
ちゃんでした。インタビュー以前の話です。私が事務局で「松田議員」と呼んだ姿
も同じ、違うのは話している内容だけです。

W受賞

この作品は、高知新聞主催の県
展で「褒状」を取り、高知県美術
協会からも「奨励賞」をいただい
た。

無鑑査

渡邊氏は、四万十市展、土佐清
水市展、宿毛市展で3回特選を取
り、賞の対象にならない名誉な賞
としての「無鑑査」になっている。

褒状【ほうじょう】とは

県展の部門内において、優れた作
品に贈られる賞。

6月定例会

令和7年6月定例会は6月12日から17日まで開き、委員会報告1件、陳情3件、報告3件、条例（専決）3件、補正（専決）1件、条例1件、補正予算1件、契約4件、発委1件、発議1件、計19議案を審議し、原案の通り可決しました。

6月補正予算

全員
賛成

非課税世帯へ3万円 子ども加算2万円 給付

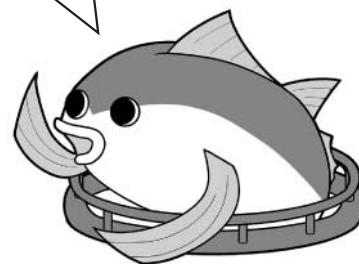
	主な使い道	内 容
総 務 費	情報通信施設機器更新業務委託料 2584万円	情報通信基盤機器の更新
民 生 費	物価高騰対応重点支援臨時給付金 400万円	非課税世帯3万円、 子ども加算2万円給付
衛 生 費	予防接種委託料 288万円	带状疱疹予防接種
農林水産業費	森林資源循環利用促進事業費補助金 171万円	再造林事業補助金（森林組合）
商 工 費	宿泊施設光熱水費 120万円	ベルリーフ大月の維持管理
消 防 費	修繕料 240万円	蓄電設備
教 育 費	給食材料費 127万円	食材値上げ分

条例

全員
賛成

- ◆大月町税条例の一部を改正する条例（専決）
 - ・地方税法の一部改正による。
- ◆半島振興対策実施地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正（専決）
 - ・半島振興法に係る省令の一部改正による。
- ◆大月町国民健康保険税条例の一部改正（専決）
 - ・地方税法施行令の一部改正による。
- ◆大月町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
 - ・国の基準に則って選挙関連報酬を見直すもの。

補正予算は、年度途中で、当初予算の変更が必要になった場合に、当初予算に追加または減額される予算です。



大月の情報通
マグロくん

契約

全員
賛成

◆令和7年度庁内情報端末機器等調達（購入）契約の締結

- Windows10は10月でサポート終了のため、庁内パソコン52台を株式会社幡多情報エントランスセンターと購入契約締結。2580万円。

◆大月町立学校授業用パソコン購入契約の締結

- 子ども用190台、教師用32台、計222台をエレパ・四国通建共同企業体と購入契約締結。1160万円。

◆大月町簡易水道施設（姫ノ井工区～周防形工区）整備工事請負契約の締結

- 谷口建設株式会社と締結。
8976万円。

◆令和7年度小型動力ポンプ付積載車購入契約の締結

- 高知消防システム株式会社と締結。
第5分団桧ノ浦部に配備予定。
1131万円。

陳情

◆精神障がい者保健手帳所持者に対する精神科医療費および一般医療費への助成制度（重度心身障害者医療費助成制度）への意見書

- 意見書は、精神障がい者保健福祉手帳を所持する者を対象に、精神科の通院・入院および一般医療の通院・入院にも適用させ、当事者が人間らしく生きていくために、医・衣食住が総合的に支えられることを願った内容になっています。
- 全員賛成で可決、高知県知事へ送付しました。

◆「国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書」の採択を求める陳情

- 総務厚生常任委員会へ付託しました。

◆消費税減税、インボイス制度廃止を求める意見書の採択を求める陳情

- 産業建設常任委員会へ付託しました。

◆大月町議会における本会議の放送および会議録の公開に関する陳情

- 議員全員へ配布し、今後の検討課題としました。

3月臨時会

全員
賛成



河川改修がまたれる田代川

◆柏島地区漁業集落環境整備工事請負契約の変更に係る専決処分

- 掘削発生土の仮置き場の変更で343万円増額。

◆田代川河川（馬路第1号橋）河川改修工事請負契約の締結

- 田代川拡幅及び橋の架替え工事。
1億1740万円。



岡山県美咲町議会での研修の様子

令和7年度議会視察研修報告その①

美咲町議会に学び大月町に活かす

美咲町議会視察

5月19日、岡山県美咲町議会へ視察研修に行きました。以前、美咲町議会が大月町議会へ視察研修に来たこともあり、大歓迎を受けました。

報告書提出

大月町に帰ってから、参加議員全員が、美咲町に学び大月町に活かせることの報告書を、議長に提出しました。その報告書をまとめると次の4点になります。

美咲町に学び活かせること

① タブレットの活用

美咲町議会は、紙資料を廃止し、タブレットに議会のさまざまな情報を入れています。そのため、議員間の情報共有、日常の連絡調整、事務局の負担軽減等計り知れないものがあるそうです。大月町議会もタブレット導入への検討が必要と感じました。

② 議員間討議

各委員会の審査終了後、審査に関連する課題やその他さまざまな課題について議員間討議を行っています。これは、お互いの考えを知る、お互いを高めあう、危機感の共有など学ぶべき点が多数ありました。

③ 情報公開

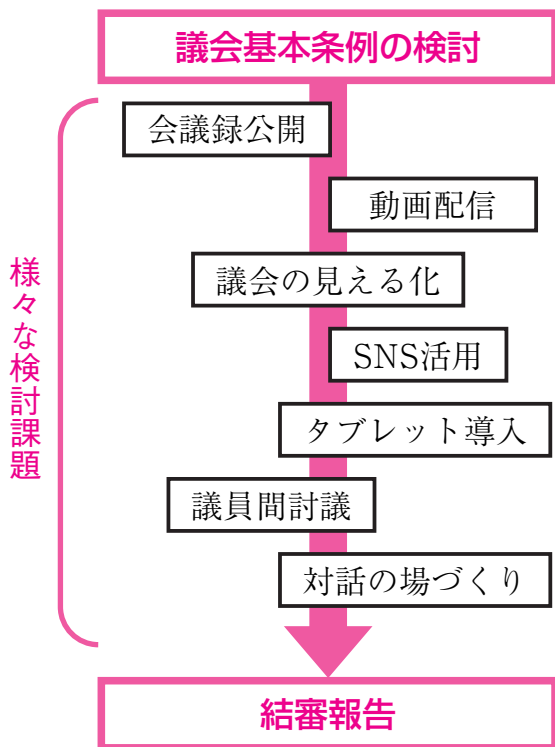
告知放送、ユーチューブ、インスタグラムなどを活用し、情報を発信する「メディアミックス構想」を打ち出しています。本町も費用をかけずにできることに取り組んでいきたいです。

④ 議会基本条例

美咲町は、前述した3点の他、たくさんのことを実践しています。これは、議会の活動の指針となる「議会基本条例」の制定後、可能になったものだそうです。議会発展のカギは、議会基本条例の制定です。

次号の視察
研修報告は
西栗倉村
です。

議会のあり方検討特別委員会発足



◆調査期間

調査終了まで

◆委員

議長を除く9名
委員長…中田巖

副委員長…浦木秀雄

◆目的

町民にとって身近で信頼される議会、開かれた議会を目指し、議会の指針となる議会基本条例制定に向けて調査・研究をする。

大月町議会は、美咲町議会に学び、6月議会で「議会のあり方検討特別委員会」を設置しました。

みんなの広場

町田 翼（27歳） 郷

—農業の楽しさ—

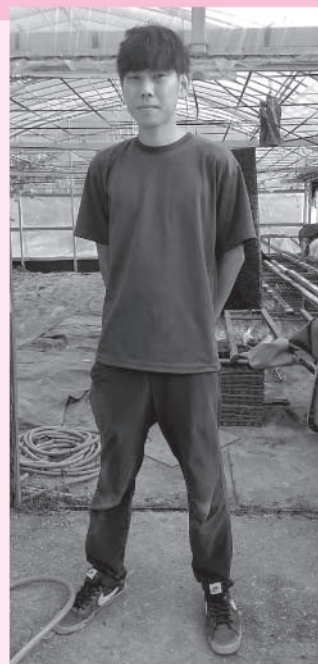
僕は会社を辞め、農家を継ぐために大月に帰ってきました。ブロッコリーの生産が主で、露地野菜中心の農家です。

農家は朝も早く、夜も遅くまで作業することがあります。大変な仕事だなと思っていました。しかし、やりがいも感じています。新鮮な野菜も食べられるし、誰かがうちの野菜を食べておいしいと思ってくれる。また、誰かの命を少しでも支えているのではと思う時もあります。

誰かが農家を支えないと野菜は食べられない、そんな思いでやりがいも感じています。

—農業の将来の不安—

今の利益をもっと増やせたらと思うが、現状は物価高騰もあり、利益が上がらないと感じます。今の段階では現状維持が精一杯ではないかと感じます。農業では食べていけなくなるのではと不安に感じています。やる気と農業に対する思いがあったとしても、10年後はどんなになるのか将来に不安を感じています。



議会だより120号の訂正について

17ページ 誤：2011年から2035年

正：2021年から2035年

表示が誤っておりました。訂正してお詫び申し上げます。

荒廃地

水田荒廃地基盤整備事業どうするか

話を進める考えは持っている／町長



笹木 章弘 議員

問 水田の荒廃地が、本村と姫ノ井、才角にかけて大規模にある。これらの基盤整備の事業をどう考えているか。

岡田町長 確かに本町全体で荒廃地が増加しています。農業者が減少していく中、町の財政状況を考えると町主導の大規模な基盤整備は厳しい現状です。

問 農地中間管理機構に問い合わせしたところ、管理機構を通せば負担金0で、農家も地権者も話しがつきやすいということだった。6月18日に現地視察にも来ると話がついた。その日は、役場の職員も来てもらえると、町長のいう一次産業の底上げになるのではないか。

岡田町長 中間管理機構が来て下さるなら、本庁も担当課長・係の

職員も行かせます。今後、県が受けてくれるということになれば、私も再度視察の結果に基づいて進めていかなければならないという考えを持っています。



荒廃が進む水田

ふれあい市と道の駅 検討委員会を立ち上げるか

設置は必要と考える／町長

問 建て替え検討委員会の立ち上げと取り組みをどう考えるか。

岡田町長 検討委員会の設置は必要と考えていますが、全員協議会で話した通り財政面で問題があります。しかし、地方創生2・0によりまして国の各省庁による道の駅支援メニューが拡充されたことから、各種交付金を活用する中で、改修に向けて取り組んでいきたいと考えています。

問 非常に財政が逼迫しておるのはよく分かる。同時に、人口がどんどん減っていく。それから国からの交付金も下がっていく。こういうような形がずっと

続いていくと思う。大きな借金をすることは財政破綻に向かうため、軽量鉄骨でも十分耐震対策もできるのではないか。

岡田町長 私の言いました改修の要因は、前回策定した基本構想、基本計画の中で活用できる部分は活用しながら、施設の全てを新築するのではなく、リニューアルし最小の経費で最大の効果を発揮できるような今後慎重に協議を進めていきたいと思っています。



リニューアルが待たれる直販市



浦木 秀雄 議員

道の駅

リニューアル計画は

令和7年度中に方向を示したい／町長



建て替えを約束した直販市

問 直販市は建て替え、道の駅は改修と説明があったが、その計画は。

岡田町長 リニューアル計画については、協議・検討をし、令和7年度中に方向性を示したいと考えています。

問 COSAの経費、及び今後の見直しは。

岡田町長 COSAの支出総額は、約1億7千万円で、そのうち町負担は約9千万円です。COSAは、今後も引き続き長期滞在型の施設として進めていきたいと考えています。

教育

魅力ある子育てプランを

子ども教室拡充で／教育長

問 放課後子ども教室に、放課後児童クラブの要素やスポーツ文化

活動・地域交流といった要素も加えて運営すること、子どもにとっても価値のあるものになるし、町の子育てプランとしても魅力的なものになるのでは。

藤原教育長 放課後子ども教室と、放課後児童クラブの両方を考えながら、放課後子ども教室の拡充という形で

対応をしていきたいと思っています。

問 学期末、教員が一番求めているのは、子どもと授業をすること、提出書類を出すことではないはずだが。

藤原教育長 議員の言う通りです。しかし、年度当初の提出書類は、60ぐらいあります。

ここにメスを入れることができないと思いますので、支援員が先生方のところで活動をしていただくことにより、先生が子どもたちと向き合える時間をつくれると思っています。

町の行政方針

重点的な取り組みは

人口減対策等3つ／町長

問 町長任期4年の中で、何を重点的に取り組むのか。

岡田町長 人口減対策、経済対策、南海トラフ対策の3つの点を優先していきたい。人口減対策は財源を伴うため、高知県の「元氣な未来創造戦略」に参入し、積極的に取り組んでいきます。

問 町長の職務として一番大切にしなければならぬことは。

岡田町長 持続可能なまちを目指すため、町民と対話をしていく中で、現状の課題を的確に把握し、課題に対応していくことや、長期的な将来像を描き、方向性を示していくことです。



進むか？ 放課後子ども教室の拡充

産業振興について

4年間の具体的な振興策は 農業者の取り組みを支援／町長



安岡 利治 議員

問 これまでの3期12年間の、岡田町政が取り組まれた産業振興策を踏まえて、この4年間の任期中にはどのような振興策を行うのか。また、集落営農組織の充実はどう考えるか。

岡田町長 スマート農業推進の支援、集落営農組織が持続・発展するための支援、地域による農地・農道等の保全管理の支援、有害鳥獣対策、有望品目の導入・販売促進の支援、新規就農等の研修や経営開始直後の早期経営

確立のための支援などです。農業振興は行政だけではなく、農業者と行政が一体となって進めていきたいと考えています。

集落営農は、春遠をモデルに、月灘・大内にも設立したい考えはあります。



水稻以外の作物の推奨

問 本町において大規模に養鶏場を経営し更に規模拡大の計画を進めている経営者がいる。土地造成にあたり本人所有の土地の利活用が出来ない複雑な問題が障害となり計画が止まっている。町として問題解決への支援が出来るか。

岡田町長 課題も多くあり、問題解決には短期間では難しい現状にありますが、県にも相談しながら模索していきたいと考えています。

防災

事前復興計画は

早期の策定／町長

問 今策定が進められている事前復興計画について。令和9年度までに策定される計画の中で食糧品の分散備蓄についてはどのように考えるか。

岡田町長 震災の被害規模を想定すると甚大な被害が考えられます。道路等のインフラ網が機能しない状況が想定されますので自助・共

助も併せて、分散備蓄も含む孤立地域への支援方法の協議・検討等が必要であると考えています。

問 発災後の一次避難所、あるいは各地区7か所の避難所でのトイレの確保が健康維持を図る上で重要となる。

トイレの確保はどう考えるか。

岡田町長 大規模な震災等の発生時には、町内7ヶ所の避難所において、避難者数1800人を想定しており、災害用簡易トイレの確保を行っています。本年度新たに災害用トイレカー及び地下埋設の備蓄型トイレの整備を予定しています。

問 事前復興計画策定において、発災後にどう進めて行くのが重要となると思う。罹災証明書交付を迅速に対応できることが求められる。本町でのこうした事務手続きをどのように考えるか。

岡田町長 罹災証明の

交付は、被災者から申請があったときは遅延無く被害状況を調査し被害の程度を証明する書面を交付しなければならぬとされています。現在本町では被害状況調査は紙ベースでの記述式で行っています。今年度からはタブレット等の活用が出来るシステム導入を高知県が主体となっていくことから、本町においても導入への検討を進めていきます。



防災バッグの確保



新谷 伸 議員

予防接種

带状疱疹予防接種の今後は 定期接種となる／町長

問 带状疱疹は80歳までに3人に1人がかかると言われていて。対象者の人数と、何人から回答があったか。また、今後の取り組みは。

岡田町長 带状疱疹ワクチンが令和7年度より定期接種となりました。

富田健康福祉課長 年度内に65歳を迎える方、60歳から64歳で人免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害があり、日常生活がほとんど不可能な方、そして、11年度までの経過措置として、70・75・80・85・90・95・100歳を迎える方です。そして、



接種の推進を

今年度のみ100歳以上は全員対象です。今年度対象者は446名です。5月30日時点の申込は、71名です。

問 年度内転入者も対象になるのか。

富田健康福祉課長 全年度で3月、4月に個人通知を発送しています。転入前の市町村で受けていない場合及び、2回接種ワクチンの2回目を受けていない場合は、本町で接種する事になります。

問 発症率が高くなると言われている50歳から65歳未満の人数は。

また自己負担額は。富田健康福祉課長 带状疱疹の発症率は年齢とともに上昇し、70歳代で発症する方が最も多くなっています。50歳から65歳未満の人数は788人です。任意接種としまして、主に50歳以上が接種可能となっており、自己負担額は、1回接種の生ワクチンは8965円、2回接種の組換えワクチンは、1回につき2万977円で合計4万1954円となっています。

問 任意接種の自己負担額は高額になる。県下の他の自治体では補助もあるが、町として考えているか。

富田健康福祉課長 予防という意味で接種いただいております。現在のところ本町では補助を考えていません。



利用しやすい窓口へ

窓口対応

軟骨伝導イヤホン導入予定は 環境整備は必要／町長

問 軟骨伝導イヤホンは耳の軟骨を振動させる事で音を伝えるイヤホンで、耳穴を塞がず耳の軟骨に軽く当てるだけで音を聞けるため一般的な集音器よりも聞こえが良い。窓口でのプライバシー保護もできるが、導入する予定は。

岡田町長 皆さんが安心して窓口で説明を受けたり、相談できる環境整備は必要です。富田健康福祉課長 近年集音器付き軟骨伝導イヤホンの有効性が広く認識されており、本町においても試験的に住民課・健康福祉課の窓口を設置し、利用者の声を聞いた上で導入するか判断したいと考えています。

公務員の兼業

人手不足の一助に

申請があれば協議する／町長



中田 蔵 議員



参画できる取り決めを

問 地方公務員の兼業について、国も後押しをしている。地方の人手不足を解消し、地域に貢献や人材育成に繋げようとするものだ。本町もこの制度を活用していくようにすべきではないか。

岡田町長 近年、公務員による兼業について関心が高まっていることは承知をしています。本町では、農業など兼業の申請の例がなく、本町独自の基準の取り決めもないことから、地方公務員法に準じ、申請があつた場合には、申請者の権利を守るため、関係機関などに相談するなど協議していきます。

委託業務

対応可能なものは職員で

あらゆる可能性探る／町長

問 大月町は今後も厳しい財政運営が予想される。委託業務の中には、職員が協働で対応することで歳出予算を削減していくことが可能なものもあると捉えるべきではないか。

岡田町長 確かに財政面で削減の余地はあるうかと思っています。一定見直しも含め、予算査定でも各課で今一度精査するよう指導しています。

い住民サービスに繋がるかを検討していく場です。係を設置するしないに関わらず、あらゆる可能性を協議していくことは可能であると考えています。

外国資本における土地取得

条例の制定は

検討していく／町長



深刻な人手不足

問 近年、外国資本における日本国内の土地取得が増加している。特に北海道など、地方において森林地帯や水源、無人島などが対象となっている。しかし、これらの取引に対する法的規制が限定的であり、地方自治体レベルでの対応が求められている。

本町における外国資本による土地取得の実態は。

岡田町長 森林法及び国土利用計画法に基づく届け出情報は保有し

ているものの、国籍や外国資本などを確認するに至る情報については保有していないことから、実態を把握することができていないのが現状です。

問 外国資本による土地取得の届け出等に関する条例の制定に向けて、調査を開始していくつもりはないか。

岡田町長 森林地帯や水源など、知らないうちに外国資本によって売買されるということについては、危惧するところです。

北海道を初め県外の都道府県においても、水源地域の土地取引届け出義務付け条例として水源地域保全条例を制定している事例があるようですので、本町も検討していきます。

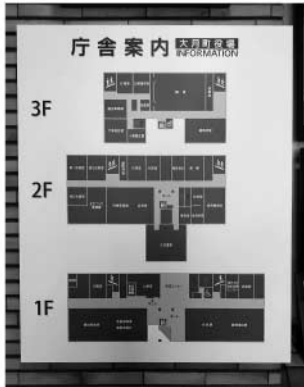


松田 照代 議員

役場内の意識改革

気持ちよく利用できる役場に

指摘の重さを感じている／町長



分かりやすい案内を

問 役場は敷居が高く、用があっても行きづらい場所を感じる。困っている人も声をかけてくれる職員が少ない。挨拶がない。役場は大月町の顔。職員は全体の奉仕者という自覚を一層持つべきではないか。

岡田町長 以前にも町民の皆様から職員の接遇について厳しい指摘をいただいた経緯があります。4期目就任の訓示において、職員の意識改革を力強く進める決意を全職員に発信をしたところです。今後は講師を招いての研修実施や適切な説明に努めて、町民に信頼される職員となるよう、指導していきます。

岡田町長 各課の配置が横向きである事も一因だと思います。来庁された方に気付いたら、職員からお声がけをすべきだと考えています。職員一人ひとりの意識の向上を図るため、今後も引き続き指導していきます。

問 住民対応は各課において誠実に対応すべきと思う。業務が職員個人に依存する事なく、課内でフォローし合える体制が取れているか。

岡田町長 部署内でフォローし合える体制が取れていると考えています。何度も来庁しなくてもよいように、できる限り対応ができていると考えていますが、なお一層、情報共有を密に、住民サービスの向上を図るため、指導していく所存です。

問 課内でのミーティングは定期的に行われているか。また、その中で出た意見を町長に提案したり、町政に反映する仕組みを作っているか。

岡田町長 毎月課内会議を実施し、併せて管理職が集まる庁内会議も、本年度より毎月実施する事にしています。庁内会議での情報を課内会議で職員全体に周知・共有すべき情報を話し合っています。

問 毎年同じような質問が提出されている。町長は、毎回徹底指導を積極的に進めて行きたいと答弁している。まだ意識改革ができていないと思う。この4年間で同じような質問が上がらないよう再度町長の強い答弁をお願いしたい。

岡田町長 職員の職務に対する意識、町民に信頼される職員・職場を作らなければならぬ、二度とこういう風な質問が出ないように努力していく所存です。

子育て支援

保育園のおむつ無償化は

優先順位踏まえ検討／教育長

問 大月町は子育て支援にとても力を入れている。そこで、保育園で使用するおむつを無償で常備することはできないか。

藤原教育長 無償化につきましては、町の財政的な問題となつてきますので、今後、町全体の施策の優先順位も踏まえながら、全庁的に検討をしていきたいと考えています。



時間がかかる名前書き作業

子育て支援

保護者への説明が不十分

保護者のニーズ把握と 情報共有を図る／教育長



米谷 勝市 議員

問 子ども教室の拡充事業について保護者への説明会はいつ行われる予定か。また拡充範囲外の長期休暇への対策は今後どのように考えているか。

藤原教育長 特例で1日開設した場合、昼食の提供ができない、お弁当の預かりも食品衛生上管理ができないため、午前中のみ開設としています。今後については7月下旬から始まる夏休みに開設し、利用人数、内容等を精査し検討します。

問 安全安心できる子どもの居場所づくりと、というのが最優先事項だ。保護者の就業機会や就業意欲に繋がると考えるが一部有料でも通年での居場所づくりを進める考えはあるか。

藤原教育長 放課後子ども教室で拡充を考え

ています。足りない部分につきましては、図書館の開放やほっとセンターやCOSA、ファミリースポーツも開設しておりますので、そちらをご活用ください。

防災減災対策

命を繋ぐドローンの 追加配備の考えは 今後、協議・検討／町長

での受講に際し報告書などの報告を受けたか。また今後、積載可能な大型ドローンや被災状況確認ができる小型ドローンなどの追加配備の考えはあるか。

岡田町長 迅速に対応できる町内在住者、主導的な役割の管理職以外で長期運用を前提に若手職員を優先し選考しました。報告は聞き取りのみで提出は求めています。早急に指示し提出を求めます。まずは1機を活用し有事の際の対応に務めます。追加配備については今後、協議・検討していきます。



配備されたドローン

観光振興

リニューアルまでの活用は 考えていない／町長

問 全国的に分離型宿泊を県も推奨している。宿泊業と飲食業との連携により地域を周遊してもらおう事が滞在時間延長・消費額増額に繋がり、更には空き家・空き店舗を再利用する費用の一部を民間向けに補助する事業がある。広く町民へ周知し活用してもらう考えはあるか。また、道の駅リニューアルを令和7年度中に計画と答弁されたが、実現までの2段階を時限付きで活用する考えはあるか。

岡田町長 大月町商工会が実施するチャレンジショップ事業にも支援をしております。地域活性化を図るための事業支援であり、チャ



道の駅・建物全景

レンジショップ事業から繋がる一連の事業となることから町といたしましても推奨をしていきたい。道の駅2階に関しては、リニューアルと併せて検討し、完成までの期間、2階部分の活用は考えていません。



依岡 一生 議員

第7次総合振興計画

みんなが主役の協働のまちづくり

地域課題を共有し取り組む／町長

問 第7次大月町総合振興計画も5年目となり、見直し等の時期にもきている。少子高齢化の現状の中、地域の支え合いが非常に大事になってくると考える。この取り組みも、集落組織を中心とした地域づくりの推進とある。今までどのように取り組んできたのか。

岡田町長 地域コミュニティの活性化を図るため、集落活動センター・姫の里を月灘地区のモデルとして、集落の維持、活性化の取り組みを進めてきました。姫の里の現状も承知をしています。他の地域での設立にはいたっていません。他の地区にも話し合いをし、旧大内地区にもう1ヶ所欲しいという思いは事実今も持っています。



地域づくりの推進を

地域おこし協力隊

活動内容を具体的に

幅広い制度の

活用を目指す／町長

問 地域おこし協力隊は、起業型協力隊として受け入れ、任期満了後も大月町で起業できるように支援をすべきではないか。

岡田町長 全国での地域おこし協力隊の定住率等は3年間の任期を満了し、定住したものは70%。大月町は3年間の任期満了した者は

47・8%、そのうち定住した者は90%です。3年間の任期までの定住率が全国より低い事を課題としてとらえ、任期満了後も継続した雇用または独立し起業していく取り組みに対し、業務内容を明確にし、幅広い制度の活用を目指していきたいと考えています。

ホテルベルリーフ大月 指定管理者募集は

1社に候補者決定／町長

問 宿泊施設が休館することは大月町の観光にも影響を与え、思われる。応募はきているのか、また、今後の運営は。

岡田町長 指定管理募集を3回行い、2社から応募があり、そのうちの1社を次期指定管理者の候補と決定して

います。運営等に関する協議を実施し、協議が整えば議会の承認を受けたうえで、正式に決定したいと考えています。老朽化につきま

しては、宿泊者に直接影響がある箇所については修繕しなくてはならないと考えています。



営業再開はいつになるか

地域への思い



県外からの帰郷

福岡県の大学へ進学し、そのまま就職。26歳の時、父の体調不調に伴い帰郷。2年後、大学時代から交際していた聡美さんが大月町へ移住、そして結婚しました。現在、中学校・小学校に娘、保育園に息子と一男二女の子育て中です。

家族への思い

結婚後、弘見地区に住みながら実家の両親と過ごす日々。高校卒業から25年。昔よく叱られたおんちゃんも立派なおじいちゃんに。穏やかになったのは良いが、昔の勇ましい漁師町の思い出を、夏になると皆口々に語り出す。地域は一つの家族。

家族が少し寂しそうに話す夏。

地域活性化の二躍

大月町内のお祭りや盆踊りがどんどん行われなくなり、地域から活気が失われていると感じていました。ある日、「帰省しても地元で元気がない」と県外で活躍する同級生の一声から、町内外の有志に声をかけ、盆踊りの復活を計画しました。初めは3人からスタートした活動でしたが、

(取材 米谷勝市)



編集後記

私は新人で過去の事は解りませんが、今回の一般質問は、2日間に渡り8名で行われました。10名定数では、初めての人数でないかと思います。議員の仕事は、町長等に対するチェックと、忌憚のない質問こそが議員の本分と考えています。議員一同頑張りますので今後とも宜しくお願い申し上げます。

(笹本章弘)

編集委員

委員長	浦木 秀雄
副委員長	依岡 一生
委員	米谷 勝市
	笹木 章弘
	松田 照代

